

一般財団法人戸田みらい基金 第8回活動報告会

# 日本の伝統を未来へつなぐ若手技術者の 処遇改善・技術力育成を目指した諸活動

活動期間：2020年4月～継続中

発表日：2021年3月10日



社・寺/文化財/一般左官工事  
株式会社 **あじま左官工芸**  
〒125-0062 東京都葛飾区青戸8-19-11 <http://www.ajimaart.co.jp/>  
tel.03-3690-2108 fax.03-3690-4027



**COVID-19  
RESPONSE**

## 企業概要

**創業** 大正10年頃

**設立** 平成2年4月

**従業員数** 16名

**事業内容** 社寺、文化財、エコロジー住宅に特化した左官工事



富岡製糸場西置繭所



駿府城公園坤櫓



成田山新勝寺

## 活動概要

- 1 処遇改善
- 2 技能講習
- 3 施設見学
- 4 教材製作
- 5 社内認定制度の制定



日本の伝統を未来へつなぐ若手技術者の  
**処遇改善・技術力育成**を目指した諸活動

株式会社あじま左官工芸

**給料体系が変わります**

日給月給制  
デメリット  
勤務日数が天候によって増減する  
ので給料が激減することがある

変革!!  
↓  
月給制

メリット  
天候や災害に影響されることなく  
安定した収入が得られる

**処遇改善**

技能向上・研究・開発  
などの活動も仕事です

通常、左官職人は手間払いのため、現場へ出た数だけ、日当がもらえる仕組みで、休日に技能の練習、研究開発をするしかありませんでした。入社したての若手は体力が追いつかず、貴重な休みを使って練習する人は殆ど居ません。

これからは、事前に申請することによって、「技能向上または研究開発のための活動」として認められれば、勤務日として行うことができます。

例) 技能検定の研修、各種能力向上講習会、社内講習会、社内育成プログラム、若手への技術指導、材料研究、道具制作、新しい壁仕上げ開発

**教材制作**

今までになかった職人のための教科書を発行  
弊社がこれまで作成した文化財建築の施工要領書をまとめ、プロのイラストレーターに絵を書き加えてもらい、分かりやすい技術書の発行を目指します。

知識・技能を兼ね備えた教育用動画を配信  
講師を呼んだ際には必ず録画・編集し、繰り返し鑑賞できるように整備します。

**独自プログラムの**

**関連施設見学**

文化財建築を見学  
他社や自社が施工した建築の見学を行い、工法の違いや経年劣化状況などを理解する。(年に2件程度)

材料工場などの関連施設も見学  
材料製造方法や道具の製造も伝統技術保存のための大事なベースです。これらの関連施設の見学も行い、知見を広めます。(年に1回程度)

**知識・技能講習**

伝統技術研究者から知識を学ぶ  
文化財建築に長年携わってきた研究者、設計者、カリスマ職人など多岐にわたる方々に講師として来ていただきます。(年に2回程度)

ベテラン職人から技能を学ぶ  
弊社のベテラン職人による技能講習を行います。

**社内認定制度**

伝統左官技術習得者として段階的に認定職人は一人前になるのに最低10年と言われますが、段階的に認定を行うことで目標設定がしやすく、自己肯定感も高まり、会社への定着につながります。

# 活動内容

## 1 処遇改善

➡今までは日給月給制だったため、月によっては勤務日数が増減するので、給料が激減することがあった

## 2 技能講習

◎ 4月からの給料体系を月給制に設定

## 3 施設見学

➡通常、左官職人は手間払いのため、現場へ出た数だけ、日当がもらえる仕組みで、休日に技能の練習、研究開発をするしかない。入社したての若手は体力が追いつかず、貴重な休みを使って練習する人は殆ど居なかった

## 4 教材製作

## 5 社内認定制度

◎「仕事の能力向上のための活動日を勤務日として認め」たことにより、自社企画の研修会や外部の技能講習等においてのべ30名弱の申請を認可した

# 活動内容

- 1 処遇改善
- 2 技能講習
- 3 施設見学
- 4 教材製作
- 5 社内認定制度

開催日 2021.12.12  
講習会のプログラム  
午前 座学  
左官の歴史を通して見る土壁の魅力  
午後 実技  
工法実技演習



座学講習の様子



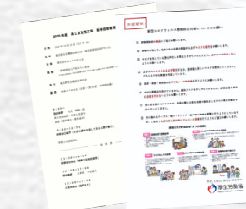
講師 佐藤ひろゆき



実技講習の様子



参加メンバー



## 活動内容

1 処遇改善

2 技能講習

3 施設見学

4 教材製作

5 社内認定制度



村樫石灰工業株式会社  
石灰工場

有限会社深谷配合粘土工業  
粘土工場



大曽根海藻工業株式会社  
海藻糊

●新型コロナウイルスにより大人数での訪問を中止し、ビデオ撮影による動画記録をDVDに収録し、従業員に配布予定

●従業員の希望により追加で3社訪問予定

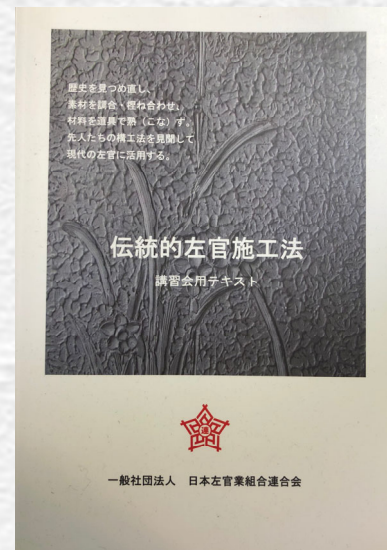
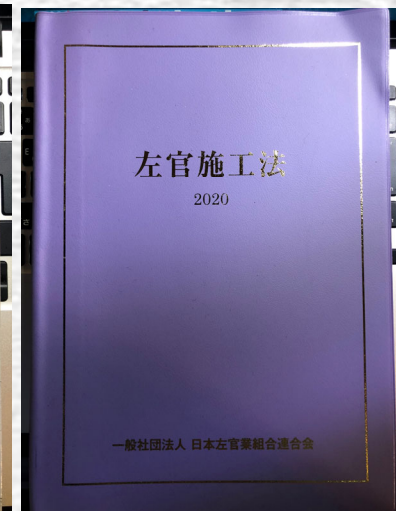


## 活動内容

- 1 処遇改善
- 2 技能講習
- 3 施設見学

## 4 教材製作

- 5 社内認定制度



- 既存の教科書や弊社が受け継ぐ工法等を総合して取りまとめ、弊社独自の教育資料の作成を目指す（継続中）

# 活動内容

＜キャリアステップイメージ＞

1 処遇改善

2 技能講習

3 施設見学

4 教材製作

5 社内認定制度

	手元	若手職人	職長	現場代理人	建設マイスター
	1年目	3年目	5年目	10年目以降	20年目以降
求められる知識・スキル	・職人としての生活基盤を整え、現場で安全に働くための知識と体力を身につける。	・工具の種類、材料の配合、施工法についてある程度の知識を習得し、職長の指示を受けて、求められた作業を正確かつ迅速に遂行できる。	・職長として自立し、現場を受け持ち、作業員に的確な指示を出すことができる。 ・後輩の手元に対し適切な指導や助言ができる。	・現場代理人として責任を持ち、自身の判断のもと、元請や他業者と連携・調整を図りながら工事を遂行できる。 ・育成事業の中心となり若手育成を行うことができる。	・建設マイスターとして、技術者の育成、伝統技術の伝承、社会貢献等、多面的な視点を持ち、目標に対して責任を持って達成することができる。
取得可能資格	*必要に応じて下表より選択	・二級左官技能士	・一級左官技能士 ・職長安全衛生責任者(特別教育)	・登録左官基幹技能者 ・選定保存技術左官(日本壁)技能者認定者	・国土交通大臣賞

● キャリアステップを定め、取得可能な資格を提示することによって、段階的な目標設定の後押しを行う

\*左官作業に必要な特別教育、技能講習、免許一覧

足場の組立て等作業従事者特別教育 足場の組立て、解体又は変更の作業に係る業務。 全員必須。	小型車両系建設機械運転特別教育 機体重量が3トン未満のコンボを扱う業務。 定置作りや切り返し作業に必須。
自由研削といし特別教育 研削といしの取替え又は取替え時の試運転の業務。 グラインダ(通称サンダー)を扱う場合には必須。	高所作業車運転特別教育 作業床の高さが10メートル未満の高所作業車の運転。 高所作業車を使用した作業には必須。
低圧電気取扱特別教育 充電部分が露出している閉回路の操作の業務。 配電盤の操作には必須。	フルハーネス型安全帯(墜落制止用器具)特別教育 フルハーネス型安全帯を用いて行う作業に係る業務。 フルハーネスを使用する場合には必須。
携帯用丸のこ盤安全衛生教育 携帯用丸のこ盤を使用する業務。 丸のこを使用する場合には必須。	玉掛け技能講習 制限荷重が1トン以上の吊钩装置又は吊上げ荷重が1トン以上のクレーンや移動式クレーンの玉掛けの業務。
巻上げ機(ウィンチ)運転特別教育 動力により駆動される巻上げ機の運転の業務。 ウィンチを使う場合には必須。	小型移動式クレーン運転技能講習 つり上げ荷重が1トン以上5トン未満の移動式クレーンの運転の業務。玉掛けとセットで必要。

必要な資格一覧



## 活動内容

1 処遇改善

2 技能講習

3 施設見学

4 教材製作

5 社内認定制度

6 その他



➡練習用の鋺や道具は使用頻度が低いけれど必要不可欠だが、下積み時代の賃金では手を出しづらい

◎初心者向け現場道具セットと検定用道具セットを会社で購入し、貸し出し



➡今までは個人の練習は現場帰りに一人で行うものだったため、練習の意義が見出せず、なかなか練習に向かう人は少ない

◎練習メニューを決め、細かい目標設定で練習に対するモチベーションを上げる試みをしている

## 活動成果

- 活動テーマに掲げた諸活動について実施する際、若手技術者に聞き込み調査や相談を常に行った結果、積極的に「これが知りたい」「こういうことを講習会でやってほしい」というような意見が段々出るようになり、若手が**受け身ではなく、自分から学びの意欲を表現するようになった**、もしくは表現できる環境を作ることができたことが一番の成果である。
- 近年では連続5年以上、毎年退職者が出ていたが、令和2年度では**退職者が0**となり、新規雇用者1名および内定者2名を迎えることができた。

## これからの活動

- まだ終わっていない教材、ビデオ教材の作成を行い、引き続き若手教育プログラムの**実践と改良を重ねていく**所存である。

# 謝辞

- 一般財団法人戸田みらい基金様主催である本助成「若手技能者の採用や育成に資する活動に対する助成」がきっかけとなり、弊社の若手教育システムの問題点を洗い出し、革新させることができました。助成金を活用させていただき、誠にありがとうございました。

ご静聴、ありがとうございました。



社・寺/文化財/一般左官工事  
株式会社 あじま左官工芸  
〒125-0062 東京都葛飾区青戸8-19-11 <http://www.ajimaart.co.jp/>  
tel.03-3690-2108 fax.03-3690-4027



COVID-19  
RESPONSE